



「F5 を使用すれば、Rotary のビジネスにとって欠かせない Web サイトの稼働時間を確保しながら、サーバのメンテナンスを実施することができます。」

Rotary International ネットワーク
およびセキュリティ上級アナリスト
Jeremy Cointin 氏

概要

業種

- 非営利組織

課題

- Web サイトの高可用性を確保
- 管理タスクを効率化

解決策

- BIG-IP Local Traffic Manager 3400

利点

- サイト可用性の向上
- 管理タスクの 90% の時間短縮
- インフラ・コストの削減

海外事例

Rotary International、F5 の製品を使用してサイトの可用性を確保し、少人数の IT スタッフの効率性を促進

Rotary International は、Microsoft Office SharePoint Server 2007 を使用して、新しく公開する Web サイトを構築しました。閲覧者数を増やし、SharePoint への投資から最適な利益を得るため、Rotary は F5 Networks® の BIG-IP® Local Traffic Manager™ (以下、BIG-IP LTM) 3400 を使用してサイトのトラフィックを管理しています。Rotary は、F5 を使用して Web サイトの高可用性を維持し、管理の簡素化とサーバ・プロセッサの使用率 20 パーセント低減を実現することで、大幅なインフラ・コストの削減を達成しました。

ビジネス課題

1905 年に創立された Rotary International は、120 万を超える企業、専門職、地域社会の指導者から成る世界的な組織に発展しています。今日では、33,000 のロータリー・クラブが、奉仕活動の実施、あらゆる職業における高度な倫理規範の奨励、世界の親善と平和の促進という組織の目標に向けて活動しています。

このように会員の拠点が分散している場合、情報の中心となるハブを提供することが、Rotary International の成功のカギとなります。この組織は、Web サイト www.rotary.org を頼りに、Rotary の国際奉仕プロジェクト、学生と青少年向けのプログラム、寄付、イベント、クラブ指導者のガイダンス、財務情報の説明などの情報を配信しています。Microsoft Office SharePoint Server 2007 で構築された Rotary International の Web サイトは、9 か国語で公開され、1 時間あたり 5,000 ~ 7,000 ページビューのトラフィックとともに常に 200 程度のユニーク・ビジター数があります。

公開している Web サイトをサポートし、将来および現在の会員組織との間で使用される組織の基本通信ツールは、Rotary International の最優先事項です。「私たちは、Web サイトとそのバックエンド・アプリケーション・インフラをできる限り効率的にサポートすることを望んでいました。」と Rotary International のネットワークおよびセキュリティ上級アナリスト、Jeremy Cointin 氏は言います。

「F5 を使用すれば、Rotary のビジネスにとって欠かせない Web サイトの稼働時間を確保しながら、サーバのメンテナンスを実施することができます。」

解決策

Rotary は、内部使用に重点を置いた他の Web ベース・アプリケーション (PeopleSoft の人材および財務管理ソフトウェアなど) でより高い可用性を実現するために F5 の製品を採用したことがありました。「当初は、別のベンダのロード・バランサを使用してこれらのアプリケーションをサポートしていましたが、管理上の観点から、これらの製品が重荷となっていることがわかりました。」と Cointin 氏は言います。そこで、Office SharePoint Server 2007 のインフラを展開する際に、Rotary は以前にアプリケーション・デリバリー・ネットワークングで成功した経験のある F5 Networks を頼ることにしました。

Office SharePoint Server 2007 を展開するために、Rotary は BIG-IP LTM 3400 を 4 台使用しています。2 台は DMZ に配置され、Rotary Web サイトのフロントエンド Web サーバへのトラフィックをロー

ド・balancingします。残りの2台は組織のネットワーク内に配置され、内部の共同作業、文書管理、および他のバックエンド・アプリケーションと Office SharePoint Server 2007 に関連する処理をサポートします。

Cointin 氏と彼の IT チームは BIG-IP LTM を自分たちで設置し、アプリケーション開発者、ネットワーク専門家、IT アーキテクト向けの F5 DevCentral (デブセントラル) オンライン・コミュニティを使用して、Web サイトへの IP トラフィックを柔軟に管理する iRules™ を作成しました。F5 の iRules では、簡単に習得できるスクリプティング構文を使用します。これにより、Rotary は Web サーバでアプリケーション・トラフィックを管理する方法をカスタマイズすることができます。「私は熟練したプログラマではありませんが、HTTPS のリダイレクトを設定するカスタムの iRules を簡単に作成することができました。」と Cointin 氏は言います。これらのリダイレクトを通して、Rotary は CPU 負荷の大きいセキュア・ソケット・レイヤ (SSL) の暗号化/復号化を SharePoint サーバから F5 デバイスに移行し、サーバ負荷を低減しました。さらに、IT スタッフは、PeopleSoft 環境内のトラフィックの転送にも iRules を使用しています。

「私たちは、Rotary のビジネス・プロセスにすべて Web ベースのアプリケーションを使用することを計画しています。」と Cointin 氏は言います。「そして、これらのアプリケーションのすべてを F5 を介して稼働させることが、私たちの目標です。Web サイトのプロジェクトを開始したとき、私たちは Microsoft と F5 製品の互換性を確認する必要がありました。いくつかの評価を終えた後、何も心配ないことがわかり、2 社の強力な協力関係に強い安心感を抱きました。」

利点

BIG-IP LTM を使用して Web サイトへのトラフィックをロード・balancingすることで、

Rotary はサイトの可用性を高め、そのインフラをより効率的に管理するだけでなく、ハードウェアとサーバのソフトウェア・ライセンスのコストも削減できます。

Wheeler 氏はまたこうも言います。「これらのソリューションがあれば、Exchange のことを考える必要さえありません。F5 ソリューションのおかげで、システムに冗長性がもたらされ、リスクが緩和されます。これで問題が1つ減ることになります」

サイト可用性の向上

BIG-IP LTM は、数秒以内のシステムのフェイルオーバーを提供します。これにより、Web サーバの障害時や定期メンテナンス中に Rotary International のサイトの可用性を確保することができます。「最新のソフトウェア・パッチ更新の適用は不可欠ですが、更新を発行するたびにサーバ・ファーム全体のシャット・ダウンが必要となるような環境は受け入れられません。」と Cointin 氏は言います。「F5 のデバイスを使用すると、Rotary のビジネスにとって欠かせない Web サイトの稼働時間を確保しながら、サーバのメンテナンスを実施することができます。」さらに、Rotary International は、カスタムの iRules を使用して BIG-IP デバイスを構成し、DoS (サービス拒否) 攻撃を阻止しています。

「最近も iRules を使用して、ハッカーが私たちの Web サイトを停止させるために送信した大量のネットワーク・パケットをかわしました。」と Cointin 氏は説明しています。

管理タスクの 90% 近い時間短縮

Rotary は、新規サーバ・クラスタを以前より 90 パーセント近く短い時間で構成できるようになりました。Cointin 氏は、この改善が直感的な Web ベースの BIG-IP ユーザ・インタフェースのおかげで成し遂げられたと考えています。「BIG-IP での新規

サーバのセットアップは 15 分で済みますが、他のベンダのデバイスでは数時間かかっていました。」と Cointin 氏は言います。さらに、SSL 証明書のインストールなどの多数の管理機能を F5 デバイスで直接実行することも可能です。Cointin 氏は、彼のスタッフなら SSL 証明書を 20 分でインストールできると見積もっています。1 台の F5 デバイスで 5 台の Web サーバをサポートしている場合、「1 台のサーバに証明書をインストールしていた時間で、サーバ・ファーム全体に証明書をインストールできるようになりました。」と彼は説明します。これにより、Rotary は少人数の IT スタッフで効率的な運用が可能になります。「私たちは、120 万の会員が使用するインフラを 10 人の運用担当でサポートしています。」と Cointin 氏は付け加えます。

インフラ・コストの削減

BIG-IP LTM の SSL オフロード機能により、Rotary は Office SharePoint Server 2007 の展開に際して、サーバの購入台数を F5 のデバイスを導入しなかった場合より減らすことができました。プロセッサ負荷の大きい SSL 暗号化を BIG-IP LTM に移行したことで、「私たちは、Web サーバのプロセッサ使用率が 10 ~ 20 パーセント低減したことを確認しました。これにより、単にサーバの購入台数を削減できただけでなく、サーバ・ソフトウェアのライセンス・コストも節約できました。」と Cointin 氏は言います。



F5 ネットワークスジャパン株式会社

東京本社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201

西日本支社
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 19 階
TEL 06-6225-1250 FAX 06-6225-1111

お問い合わせは F5 First Contact まで : www.f5networks.co.jp/fc/

● お問い合わせ先